

さいたま市議会議員 出雲けいこ

民主改革さいたま市議団

さいたま市議会レポート

2023 spring

発行／さいたま市議会議員 出雲けいこ事務所

さいたま市西区内野本郷448-9-201

TEL 048-607-9593

FAX 048-715-0919

E-mail izumokeiko@outlook.jp

HP <https://www.izumokeiko.com/>

お困りごとは、
フォーム・電話・メールで
ご連絡ください。

活動報告

ご相談 連絡先



こころにっこの
さいたま市へ



2月1日から3月3日までの31日間行われました

市長提出議案96件、委員会提出議案1件を可決・同意し閉会しました。

今定例会は、新年度に向けて市長、教育長が施政方針、教育行政方針を述べることから始まります。議会としても各会派から代表質問を行います。私たちの会派からは「新年度に向けての放課後児童クラブへの更なる支援策の充実」や「人権を基本にすえた学校教育の推進」、「ジェンダー平等の推進」等の視点から質問を行いました。

来月にはさいたま市が政令指定都市となり、各区も誕生し20年となります。20周年記念イベントとして大宮新能や花火大会等を開催予定です。また長年会派として要望してきた学校給食費の公会計化の導入(2024年度)に向けた条例が制定されました。

当初予算審査では子どもたちの教育や学習等に関する質問を行いました。

不登校支援のうち、長期欠席の子どもたちの中にヤングケアラーがいるか、不登校のメタバース導入に向けてメタバース上でしかできない支援について。

一時保護所に保護されている子どもたちの学習の確保について、通学指定されている中学校に希望する部活動がない場合、希望する部活動がある学校への進学について、小学校教諭の課外活動に関する働き方改革と処遇について等の視点から質問しました。

ゾーン30エリア拡大予定

(ゾーン30:最高速度30km/h

の区域規制) @西大宮4丁目内



道路・公園の損傷は「まちパト」で教えてください!!

4月3日(月)から道路・公園・緑地等の損傷通報システム

「まちパト」の運用が始ります。24時間365日、市内の道路や公園等の不具合や損傷をスマートフォン等から写真や位置情報をさいたま市に共有してください。

やりとりは自動応答対応です。市の所管以外(民有地等)の場合は、対応出来ない可能性があります。

ご連絡先をいただいた場合は、担当課から問い合わせをすることがあります。



2023年度 当初予算から注目事業を紹介

新4本の柱 年度予算

- 感染症や自然災害に備える
- ポストコロナを見据えたさいたま市の魅力づくり
- 誰一人取り残さない持続可能で包摂的な地域づくり
- 公民学共創と質の高い市役所づくり

あらゆる人が
排除されない
社会へ

新年度の当初予算は、一般会計(6,690億円)、全会計予算総額(1兆1,289億円)ともに8年連続で過去最大を更新しました。歳入は人口増加による個人市民税や家屋の新增築などによる固定資産税が増え、歳出は施設建設事業費や子育て支援策、電気・ガス料金の物価高騰分への取り組みを行います。財政調整基金の繰入金は前年度から増え、収支不足を補うために市債は皆増となります。



子ども・子育て関連

○指扇北小学校の敷地内に新しく放課後児童クラブ(学童)の整備

また新規開設する学童の改修工事費に補助金の上限額を130万円から240万円までに引き上げ

○第3子以降のお子さんが生まれたご家族に一人当たり5万円の子育て応援支援金を開始

○3歳児検診時に視覚調査の屈折検査の導入

○未就園児の医療的ケア児の家族への相談支援や一時預かりの実施。現在の与野本町保育園を改修し、医療的ケア児保育支援センターを11月ごろの開設目標

○ひまわり特別支援学校知的障害教育部門の高等部を開設

○市立中学校体育館へのエアコン設置(設計:土屋中・植水中、工事:大宮西中・馬宮中)

○ヤングケアラー(若年介護者)の相談窓口やヤングケアラーの家庭への訪問支援事業の開始

まちづくり

○2031年度を目途に移転する予定の新庁舎の整備と現庁舎の利活用の検討

○大栄橋の橋りょう耐震化、赤羽橋跨線橋の橋りょう長寿命化修繕の実施

○秋葉の森総合公園(南工区)のバーベキュー場の整備(2025年4月完成目標)

○指扇小学校と指扇公民館の複合化(2027年の完成目標)

経済



キャッシュレス決済

○デジタル地域通貨の導入調査(地域経済の活性化、行政サービスの向上、地域コミュニティの創出とこれらから得られるデータを活用した施策等の実現に向けて導入を検討)

○キャッシュレス決済(施設利用料等の支払い対象施設の拡大、介護保険料も対応可能に)

くらし

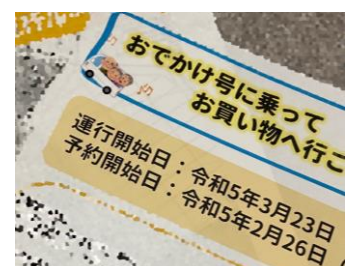
○LINEアカウントでの子育てやイベント等のそれぞれが欲しい情報をプッシュ型でお知らせ開始予定

○荒川右岸地域にてシニア世代の移動支援事業を実施予定(写真参考→)

○ケアラー・ヤングケアラーからの電話相談の実施

○障害者生活支援センターの相談支援体制の強化

○(仮称)さいたま市口腔保健センターの整備



スポーツ・文化イベント

○国際芸術祭2023、ランニングイベント、ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催

また、トラックドライバーの時間外労働の上限規制によって、ドライバー不足が深刻化されている。

出雲の 視点

日常生活に支障をきたしている市民がいる

出雲の 視点

改善するものではなく、その物質から離れることが一番の回避策だが対策は？

埼玉県HPから住宅地の農薬使用について →



出雲の 視点



しかしながら、今後の名称については子どもたちの意見や保護者の方の意見等を踏まえて検討し、名称変更によって支給品にも変更が生じてしまうため合わせて検討する。

あなたと一緒に手を取りあってつながるさいたま市を ～みなさんのお困りごと・ご意見を市政に～

○社会全体で子ども・子育てを支える

その子らしく育つための環境の充実

- ・公園を遊びやすく
- ・プレイパーク(冒険遊び場)を身近な場所に
- ・子どもたちの意見が反映される社会のために、子ども議会やアドボケイト制度の導入
- ・学校外で学ぶ経済的支援と居場所の充実
- ・ユースクリニックの設置
- ・高等教育(大学、短期大学、専門学校など)の就学支援制度の充実

ママ、パパに寄り添った支援の充実

- ・子育て中家族の支援の充実
- ・ひとり親、多胎児、リトルベビー家族などの支援の充実
- ・保育施設や学童・放課後デイ等の質と場の充実
- ・医療的ケア児や障害児と家族の支援
- ・流産・死産などを経験した家族への支援



○あなたらしさが尊重される社会

- ・歳を重ねてもしあわせに生きられる社会づくり
- ・家族を支えるケアラー、ヤングケアラーの支援
- ・女性が様々なライフステージをしあわせに過ごせる支援

○命と暮らしを守るさいたま

- ・福祉ネットワークでつながりを
- ・水害に強いインフラの強化
- ・誰一人取り残さない減災・防災
- ・顔が見える共助で支える防災



○持続可能な社会のために

- ・地産地消のエネルギー活用
- ・食品ロス削減
- ・有機農業の推進
- ・学用品の共有使用
- ・オンデマンドの交通手段やコミュニティバス等の路線や運行本数の拡充
- ・労働者協同組合の支援充実



立憲民主党 出雲けいこ

プロフィール

市議会議員 60人中、唯一の現役ママ議員

京都市生まれ、立命館大学 国際関係学部 卒業

きなこ



子どもが1歳の時に、東日本大震災を経験し、家族だけで子どもたちを守ることに限界があり、地域・社会全体で子どもを守り、支えていくことが必要だと考えるようになりました。

阪神淡路大震災・東日本大震災、令和元年東日本台風(台風19号)を経験、日頃の備えの必要性を痛感し防災士としても活動中。

台風19号時は災害復旧ボランティア活動にも参加

趣味は梅干しやお味噌づくり、読み語りボランティア、多言語活動など

埼玉県冒険遊び場づくり連絡協議会 プレイリーダー基礎研修終了

【所属】立憲民主党 埼玉県連 若者局長、気候危機・自治体議員の会、WOMAN SHIFT(届きづらい女性の声を政治につなぎ、政策実現することをミッションとする団体)、若手議員の会会員、生活クラブ生協組合員